

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券
信託期間	2018年12月21日まで（2014年2月24日設定）
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	短期ハイ・イールド債 ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02
	ハイ・イールド・ ボンド・ファンド(C)
	マネー・プール マザーファンド
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 新興国を含む海外の米ドル建のハイ・イールド債券等を実質的な主要投資対象とし、信用リスクに配慮しつつ相対的に利回りが高いと判断される債券に投資します。 信託期間が約4年10ヵ月の単位型投資信託です。投資するハイ・イールド債券等は、当ファンドの信託期間終了前に満期を迎える短期の債券に限ります。 原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年12月21日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のいずれが多い額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

[満期償還]

短期ハイ・イールド債ファンド (為替ヘッジあり) 2014-02



信託終了日：2018年12月21日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「短期ハイ・イールド債ファンド（為替ヘッジあり）2014-02」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
(受付時間：営業日の9:00~17:00、
土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 配 分			受 益 者 回 利		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	元 本 残 存 率
		み 金	期 騰 落	中 期 騰 落	中 期 騰 落	中 期 騰 落				
(設定日) 2014年2月24日	円 銭 10,000	円 -	円 銭 -	円 銭 -	% -	% -	% -	% -	% 100.0	
1期(2014年12月22日)	9,503	0	△497	△5.0	△6.0	0.0	-	98.5	99.4	
2期(2015年12月21日)	9,178	0	△325	△3.4	△4.5	0.0	-	97.1	86.2	
3期(2016年12月21日)	9,900	0	722	7.9	△0.4	-	-	97.4	74.2	
4期(2017年12月21日)	9,968	0	68	0.7	△0.1	-	-	98.8	58.7	
(償還時)	(償還価額)									
5期(2018年12月21日)	9,754.06	-	△213.94	△2.1	△0.5	-	-	-	21.5	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			券 率	券 率	託 券 率
(期 首)	円 銭	%	%	%	%
2017年12月21日	9,968	—	—	—	98.8
12月末	9,959	△0.1	—	—	97.2
2018年1月末	9,939	△0.3	—	—	95.3
2月末	9,924	△0.4	—	—	97.7
3月末	9,897	△0.7	—	—	96.4
4月末	9,904	△0.6	—	—	98.7
5月末	9,898	△0.7	—	—	95.5
6月末	9,883	△0.9	—	—	97.6
7月末	9,871	△1.0	—	—	96.5
8月末	9,857	△1.1	—	—	95.2
9月末	9,836	△1.3	—	—	98.9
10月末	9,810	△1.6	—	—	98.8
11月末	9,775	△1.9	—	—	63.7
(償還時)	(償還価額)				
2018年12月21日	9,754.06	△2.1	—	—	—

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

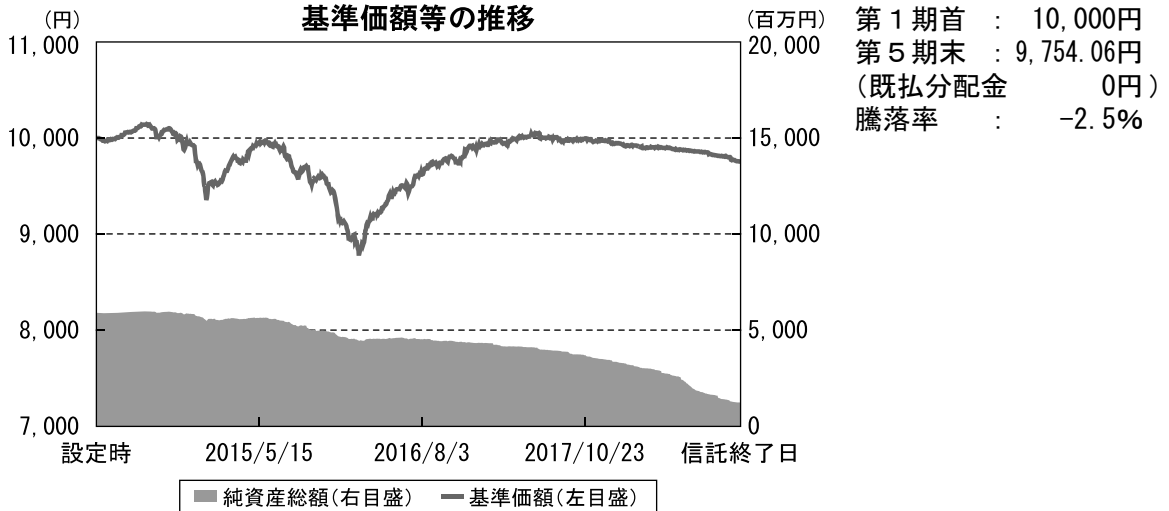
運用経過

設定来の基準価額等の推移について

（第1期～第5期：2014/2/24～2018/12/21）

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ2.5%の下落となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 単户型投資信託は実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

上昇要因	<ul style="list-style-type: none"> ・米ドル建のハイ・イールド債券が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	<ul style="list-style-type: none"> ・組入銘柄の一部が連邦破産法第11章（チャプター11）の適用を申請し、債務不履行（デフォルト）となりました。それらの銘柄について、債券価格が買付価格を下回る水準で売却し、損失（債券の買付価格と売却価格の差）を確定したことが、基準価額の下落要因となりました。 ・デフォルト・リスクが高まったと判断したエネルギー関連を中心とする一部銘柄を途中売却し、損失を確定したことが基準価額の下落要因となりました。 ・対円で為替ヘッジを行う際に生じたヘッジコストが、基準価額の下落要因となりました。 ・信託報酬などの費用が、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

（第1期～第5期：2014/2/24～2018/12/21）

◎米ドル建のハイ・イールド債券市況

- ・ 設定来の米ドル建のハイ・イールド債券市場は、上昇しました。
- ・ 設定時から2015年6月にかけては、原油をはじめとする商品価格の下落などを背景にスプレッド（国債との利回り差）は拡大したものの、利息収入を得たことなどから市場は上昇基調で推移しました。しかしその後は、商品価格が一段安となる中、市場はエネルギー・素材関連銘柄を中心に大きく売られる展開となり、下落しました。2016年2月以降は、主要国の株式市場が上昇するなど投資家によるリスク選好の動きが強まったことや、ハイ・イールド債発行体の企業業績が堅調となったことなどを背景に上昇しました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・ 設定時から2016年1月までの無担保コール翌日物金利は、日銀による金融緩和政策の影響を受けて、0.1%を下回る水準で推移しました。2016年2月のマイナス金利の適用開始以降は、おおむねマイナス圏での推移となり、足下ではマイナス0.07%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・ 設定時からの国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは、日銀による量的・質的金融緩和のなか、2016年1月までは概ねマイナス0.1%～0.1%の範囲で推移しました。1月の日銀金融政策決定会合でマイナス金利の導入が決定されると金利低下圧力が強くなり、2016年12月にかけてはマイナス0.45%程度まで低下しました。その後、短期国債の需給が緩和したことなどから上昇傾向となり、足下はマイナス0.23%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

<短期ハイ・イールド債ファンド（為替ヘッジあり）2014-02>

- ・米ドル建の外国投資信託であるハイ・イールド・ボンド・ファンド（C）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。
 - ・外貨建資産について、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。
 - ・その結果、投資しているハイ・イールド・ボンド・ファンド（C）の価額上昇が、基準価額の上昇要因となったものの、為替ヘッジコストや信託報酬などの費用がマイナスとなり、基準価額は設定時に比べ、2.5%下落しました。
- なお、米国における政策金利の引き上げおよび日本におけるマイナス金利政策の導入などを背景とする日米金利差の拡大などを受けて、為替ヘッジコストはファンド設定時以降、増加傾向で推移しました。

<第1期：設定時～2014年12月22日>

基準価額は設定時に比べ5.0%の下落となりました。

<第2期：2014年12月23日～2015年12月21日>

基準価額は期首に比べ3.4%の下落となりました。

<第3期：2015年12月22日～2016年12月21日>

基準価額は期首に比べ7.9%の上昇となりました。

<第4期：2016年12月22日～2017年12月21日>

基準価額は期首に比べ0.7%の上昇となりました。

<第5期：2017年12月22日～信託終了日>

償還価額は期首に比べ2.1%の下落となりました。

- ・償還に向け、2018年12月13日にハイ・イールド・ボンド・ファンド（C）受益証券の組入比率をゼロにしました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券を一部組み入れた運用を行いましたが、2018年12月12日に組入比率をゼロにしました。

<ハイ・イールド・ボンド・ファンド（C）>

- ・新興国を含む海外の米ドル建のハイ・イールド債券を主要投資対象とし、信用リスクに配慮しつつ相対的に利回りが高いと判断される債券に投資を行いました。
- ・信託期間終了前に満期を迎える短期の債券*に投資を行い、当該債券の償還まで保有することを基本戦略とし、信託期間終了時の金利変動リスクの低減をはかるように運用を行いました。

*当ファンドにおいて「短期の債券」とは、当ファンドの信託期間（約4年10ヵ月）終了前に満期を迎える債券をいい、満期までの期間が1年未満の債券に限りません。

- ・信託期間を通じてみると、以下の要因により、基準価額は設定時に比べ9.2%上昇しました。

（上昇要因）

- ・米ドル建のハイ・イールド債券が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

（下落要因）

- ・信託期間中において、組入銘柄の一部がチャプター11の適用を申請し、デフォルトしました。デフォルトした銘柄は、クイックシルバー（米国のアパレル小売：チャプター11適用申請日は2015年9月9日）、ローガンズ・ロードハウス（米国のレストランチェーン：同2016年8月8日）、ギブソン・ブランズ（米国の楽器メーカー：同2018年5月1日）の3銘柄です。当該銘柄については、債券価格が買付価格を下回る水準で売却し、損失を確定したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・また、デフォルト・リスクが高まったと判断した一部の銘柄を途中売却し、損失を確定したことも基準価額の下落要因となりました。特に、原油・ガス探査採掘や石油関連サービスなどのエネルギー関連銘柄に関して、2014年半ばから2016年2月にかけての原油価格下落を受け、債券価格が大きく下落しました。こうした環境下、2015年11月以降、更なる収益悪化の可能性などを考慮し、エネルギー関連銘柄の一部を売却しました。

＜第1期：設定時～2014年12月22日＞

基準価額は設定時に比べ下落しました。

- ・保有銘柄の利息収入が得られたことなどが基準価額にプラスに寄与しました。一方、資本財セクター内における一部銘柄の価格が下落したことなどがマイナスに影響しました。

＜第2期：2014年12月23日～2015年12月21日＞

基準価額は期首に比べ下落しました。

- ・保有銘柄の利息収入が得られたことなどが基準価額にプラスに寄与しました。一方、素材セクターや消費財（市況）セクター内における一部銘柄の価格が大きく下落したことなどがマイナスに影響しました。

＜第3期：2015年12月22日～2016年12月21日＞

基準価額は期首に比べ上昇しました。

- ・米ドル建のハイ・イールド債券が上昇したことや消費財（市況）セクター内における一部銘柄の価格が上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。一方、運輸セクター内における一部銘柄の価格が下落したことなどがマイナスに影響しました。

＜第4期：2016年12月22日～2017年12月21日＞

基準価額は期首に比べ上昇しました。

- ・米ドル建のハイ・イールド債券が上昇したことや運輸セクター内における一部銘柄の価格が上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。一方、通信セクター内における一部銘柄の価格が下落したことなどがマイナスに影響しました。

<第5期：2017年12月22日～信託終了日>

償還価額は期首に比べ上昇しました。

- ・米ドル建のハイ・イールド債券が上昇したことや通信セクター内における一部銘柄の価格が上昇したことなどが基準価額にプラスに寄与しました。一方、運輸セクター内における一部銘柄の価格が下落したことなどがマイナスに影響しました。

<マネー・プール マザーファンド>

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持を目指した運用を行いました。
- ・基準価額は設定時に比べ横ばいとなりました。

<第1期：設定時～2014年12月22日>

基準価額は設定時に比べ上昇しました。

<第2期：2014年12月23日～2015年12月21日>

基準価額は期首に比べ上昇しました。

<第3期：2015年12月22日～2016年12月21日>

基準価額は期首に比べ下落しました。

<第4期：2016年12月22日～2017年12月21日>

基準価額は期首に比べ下落しました。

<第5期：2017年12月22日～信託終了日>

基準価額は期首に比べ下落しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

信託期間中の収益の分配はありません。

償還価額

<短期ハイ・イールド債ファンド（為替ヘッジあり） 2014-02>

償還価額は、9,754円06銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○1万口当たりの費用明細

(2017年12月22日～2018年12月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 125	% 1.269	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
(投 信 会 社)	(32)	(0.328)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(90)	(0.908)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.002)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	126	1.276	
期中の平均基準価額は、9,873円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年12月22日～2018年12月21日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	ハイ・イールド・ボンド・ファンド(C)	—	—	28,007	30,538

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・プール マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 99	千円 100

○利害関係人との取引状況等

(2017年12月22日～2018年12月21日)

利害関係人との取引状況

<短期ハイ・イールド債ファンド（為替ヘッジあり）2014-02>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 32,248	百万円 2,251	% 7.0	百万円 28,866	百万円 1,889	% 6.5
為替直物取引	-	-	-	3,418	362	10.6

<マネー・プール マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2018年12月21日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	柄	期首(前期末)
		口数
(アメリカ)		千口
ハイ・イールド・ボンド・ファンド(C)		28,007
合	計	28,007

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
マネー・プール	マザーファンド		千口
			99

○投資信託財産の構成

(2018年12月21日現在)

項	目	償 還 時	
		評 価 額	比 率
		千円	%
	コール・ローン等、その他	1,250,838	100.0
	投資信託財産総額	1,250,838	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2018年12月21日現在)

項	目	償 還 時
		円
(A)	資産	1,250,838,455
	コール・ローン等	1,250,838,455
(B)	負債	11,366,520
	未払信託報酬	11,315,062
	未払利息	9,138
	その他未払費用	42,320
(C)	純資産総額(A-B)	1,239,471,935
	元本	1,270,724,598
	償還差損金	△ 31,252,663
(D)	受益権総口数	1,270,724,598口
	1万口当たり償還価額(C/D)	9,754円06銭

<注記事項>

- ①設定年月日 2014年2月24日
 設定元本額 5,900,739,314円
 期首元本額 3,465,335,759円
 元本残存率 21.5%
 また、1口当たり純資産額は、期末0.975406円です。
 ②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は31,252,663円です。

○損益の状況

(2017年12月22日～2018年12月21日)

項	目	当 期
		円
(A)	配当等収益	△ 104,091
	受取利息	316
	支払利息	△ 104,407
(B)	有価証券売買損益	△ 17,124,898
	売買益	720,392,906
	売買損	△737,517,804
(C)	信託報酬等	△ 30,834,181
(D)	当期損益金(A+B+C)	△ 48,063,170
(E)	前期繰越損益金	△ 11,064,627
(F)	解約差損益金	27,875,134
	償還差損金(D+E+F)	△ 31,252,663

(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2014年2月24日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2018年12月21日			資産総額	1,250,838,455円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	11,366,520円	
				純資産総額	1,239,471,935円	
受益権口数	5,900,739,314口	1,270,724,598口	△4,630,014,716口	受益権口数	1,270,724,598口	
元本額	5,900,739,314円	1,270,724,598円	△4,630,014,716円	1万口当たり償還金	9,754円06銭	
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	5,867,561,643円	5,575,652,391円	9,503円	0円	0%	
第2期	5,089,756,598	4,671,489,011	9,178	0	0	
第3期	4,380,849,903	4,337,005,064	9,900	0	0	
第4期	3,465,335,759	3,454,271,132	9,968	0	0	
信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率				△245円94銭	-%	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	9,754円06銭
----------------	-----------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

①当社ホームページアドレス変更に伴う記載変更を行うため電子公告のアドレスを変更し、信託約款に所要の変更を行いました。

（変更前（旧）<http://www.am.mufg.jp/> → 変更後（新）<https://www.am.mufg.jp/>）

（2018年1月1日）

②2014年1月1日から、2017年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、「短期ハイ・イールド債ファンド（為替ヘッジあり）2014-02」が投資対象とする米ドル建の外国投資信託受益証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	ハイ・イールド・ボンド・ファンド（C） （以下、当概要において「投資先ファンド」といいます。）
形 態 等	ケイマン籍／外国投資信託受益証券／米ドル建
目 的 及 び 基 本 的 性 格	新興国を含む海外の米ドル建のハイ・イールド債券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指します。
運用方針および 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ●信用リスクに配慮しつつ相対的に利回りが高いと判断される米ドル建の債券に投資します。 ●投資先ファンドの償還時の金利変動リスクの低減を図るため、信託期間終了前に満期を迎える短期の債券に投資を行い、当該債券の償還まで保有すること（バイ・アンド・ホールド）を基本戦略とします。 ●主に、B-格相当以上の格付を付与されたハイ・イールド債券に投資します。ただし、債券の償還金や利息収入および途中売却した際の売却代金については、市況動向や資金動向、残存信託期間等を勘案し、投資先ファンドの信託期間終了前に満期を迎える米ドル建の投資適格社債等で運用することがあります。 ●原則として、CCC+格相当以下の格付を付与されたハイ・イールド債券には投資しません。ただし、保有している債券が格下げされた場合を除きます。 ●デフォルトした債券には投資しません。保有している債券がデフォルトした場合には、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクの決定に基づき、投資先ファンドの信託期間が終了するまでに当該債券を売却します。 ●投資先ファンドにおける、米国の発行体以外発行体により発行された債券への投資割合は、購入時点で、当該投資先ファンドの純資産総額の70%以下とします。 ●投資先ファンドにおける、単一の発行会社により発行された社債への投資割合は、購入時点で、当該投資先ファンドの純資産総額の5%以下とします。 ●日本の法人等が発行する債券には投資しません。 ●投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等の場合をいいます。）の発生を含む市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。
投資顧問会社	モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク
信 託 期 限	2018年12月20日（予定）
設 定 日	2014年2月24日
会 計 年 度	毎年12月末

「モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インク」について

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクは、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントの米国拠点です。モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントは、モルガン・スタンレーの資産運用部門として、様々な運用戦略を世界の投資家に提供しています。

ハイ・イールド・ボンド・ファンド（C）

損益計算書、純資産変動計算書、有価証券明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

2017年12月31日に終了する期間	米ドル
収益	
受取配当金	-
銀行利子	4,749.69
債券利息	1,897,469.61
その他の収益	46,084.68
	1,948,303.98
費用	
管理者報酬	(27,385.90)
デリバティブ管理代行手数料	-
投資顧問料	(136,929.39)
運用受託報酬	(3,423.27)
その他の費用	(5,797.48)
専門家報酬	(23,386.04)
サブカस्टディアン費用	(8,353.36)
受託者報酬	(10,000.00)
	(215,275.44)
投資純損益	1,733,028.54
投資証券売却に係る実現純損益	(841,784.49)
為替予約取引に係る実現純損益	260.96
その他為替取引に係る実現純損益	-
オプション取引に係る実現純損益	-
当期実現純損益	(841,523.53)
未実現評価損益の純変動：	
- 投資証券	441,801.83
- 為替予約取引	-
- その他為替取引	-
- オプション取引	-
	441,801.83
運用による純資産の増減	1,333,306.84

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

2017年12月31日に終了する期間	米ドル
期首の純資産	35,775,240.55
投資純損益	1,733,028.54
投資証券売却に係る実現純損益	(841,784.49)
為替予約取引に係る実現純損益	260.96
その他為替取引に係る実現純損益	-
	(841,523.53)
未実現評価損益の純変動：	
- 投資証券	441,801.83
	441,801.83
申込み	2,440,000.00
償還金	(9,974,533.00)
	(7,534,533.00)
期末の純資産	29,574,014.39

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 有価証券明細表

(2017年12月31日現在)
(米ドルで表記)

銘柄	通貨	額面/数量	原価	時価	純資産比率
I. TRANSFERABLE SECURITIES ADMITTED TO AN OFFICIAL STOCK EXCHANGE OR DEALT ON ANOTHER REGULATED MARKET					
BONDS					
<i>BERMUDA</i>					
AIRCASTLE LTD 4.625% 12/15/2018	USD	1,415,000	1,475,510.00	1,441,842.59	4.88%
			1,475,510.00	1,441,842.59	4.88%
<i>CANADA</i>					
TECK RESOURCES LTD 2.5% 02/01/2018	USD	185,000	182,860.50	184,537.50	0.62%
			182,860.50	184,537.50	0.62%
<i>IRELAND</i>					
SMURFIT KAPPA ACQUISITIONS ULC 4.875% 09/15/2018	USD	1,325,000	1,348,854.51	1,341,469.70	4.54%
			1,348,854.51	1,341,469.70	4.54%
<i>LUXEMBOURG</i>					
INTELSAT LUXEMBOURG SA 6.75% 06/01/2018	USD	188,000	199,798.14	183,535.00	0.62%
MALLINCKRODT INTERNATIONAL FINANCE SA 3.5% 04/15/2018	USD	1,400,000	1,391,173.25	1,400,504.04	4.74%
			1,590,971.39	1,584,039.04	5.36%
<i>NETHERLANDS</i>					
NXP BV / NXP FUNDING LLC 3.75% 06/01/2018	USD	200,000	201,750.00	201,250.00	0.68%
			201,750.00	201,250.00	0.68%
<i>SRI LANKA</i>					
BANK OF CEYLON 5.325% 04/16/2018	USD	400,000	398,580.00	401,824.01	1.36%
			398,580.00	401,824.01	1.36%
<i>UNITED KINGDOM</i>					
ALGECO SCOTSMAN GLOBAL FINANCE PLC 8.5% 10/15/2018	USD	320,000	346,071.62	320,800.00	1.08%
CEVA GROUP PLC 4% 05/01/2018	USD	979,324	934,795.81	989,729.32	3.35%
JAGUAR LAND ROVER AUTOMOTIVE PLC 4.125% 12/15/2018	USD	1,450,000	1,479,655.00	1,470,503.02	4.97%
			2,760,522.43	2,781,032.34	9.40%
<i>UNITED STATES OF AMERICA</i>					
ALLY FINANCIAL INC 3.25% 11/05/2018	USD	1,400,000	1,401,779.37	1,406,075.97	4.75%
AMERICAN AIRLINES GROUP INC 6.125% 06/01/2018	USD	1,450,000	1,505,387.50	1,471,619.46	4.98%
BMC SOFTWARE INC 7.25% 06/01/2018	USD	340,000	354,580.61	344,110.60	1.16%
CABLEVISION SYSTEMS CORP 7.75% 04/15/2018	USD	1,340,000	1,422,308.89	1,356,280.95	4.59%
CNH INDUSTRIAL CAPITAL LLC 3.625% 04/15/2018	USD	490,000	498,425.00	491,813.01	1.66%
DISH DBS CORP 4.25% 04/01/2018	USD	1,420,000	1,444,301.66	1,426,901.20	4.82%
EMC CORP 1.875% 06/01/2018	USD	1,460,000	1,456,108.80	1,452,553.97	4.91%
FLEXI-VAN LEASING INC 7.875% 08/15/2018	USD	680,000	725,300.00	680,000.00	2.30%
FREEMPORT-MCMORAN INC 2.375% 03/15/2018	USD	1,440,000	1,437,673.92	1,440,993.60	4.87%
FRESENIUS MEDICAL CARE US FINANCE II INC 6.5% 09/15/2018	USD	175,000	193,237.50	179,936.75	0.61%
FRONTIER COMMUNICATIONS CORP 8.125% 10/01/2018	USD	1,425,000	1,521,321.50	1,421,380.53	4.81%

(2017年12月31日現在)
(米ドルで表記)

銘柄	通貨	額面/数量	原価	時価	純資産比率
I. TRANSFERABLE SECURITIES ADMITTED TO AN OFFICIAL STOCK EXCHANGE OR DEALT ON ANOTHER REGULATED MARKET (continued)					
<i>UNITED STATES OF AMERICA (continued)</i>					
GENWORTH HOLDINGS INC 6.515% 05/22/2018	USD	1,525,000	1,540,165.43	1,528,980.27	5.17%
GIBSON BRANDS INC 8.875% 08/01/2018	USD	655,000	695,190.80	548,562.50	1.85%
QWEST CAPITAL FUNDING INC 6.5% 11/15/2018	USD	1,266,000	1,317,535.64	1,310,177.07	4.43%
SERVICE CORP INTERNATIONAL/US 7.625% 10/01/2018	USD	1,300,000	1,394,057.42	1,358,500.00	4.59%
UNITED CONTINENTAL HOLDINGS INC 6.375% 06/01/2018	USD	1,385,000	1,447,120.24	1,406,522.91	4.76%
YUM! BRANDS INC 6.25% 03/15/2018	USD	1,470,000	1,500,246.85	1,478,143.81	5.00%
			19,854,741.13	19,302,552.60	65.26%
TOTAL BONDS			27,813,789.96	27,238,547.78	92.10%
SHARES					
<i>UNITED STATES OF AMERICA</i>					
IRACORE INVESTMENTS HOLDING A-SHS	USD	606	547,187.50	90,500.04	0.31%
			547,187.50	90,500.04	0.31%
TOTAL SHARES			547,187.50	90,500.04	0.31%
TOTAL I.			28,360,977.46	27,329,047.82	92.41%
II. SECURITIES NOT ADMITTED ON ANY REGULATED MARKET					
BONDS					
<i>UNITED STATES OF AMERICA</i>					
NAI ENTERTAINMENT HOLDINGS / NAI ENTERTAINMENT HOLDINGS FINANCE CORP 5% 08/01/2018	USD	584,000	598,690.00	585,460.00	1.98%
			598,690.00	585,460.00	1.98%
TOTAL II.			598,690.00	585,460.00	1.98%
TOTAL INVESTMENTS IN SECURITIES			28,959,667.46	27,914,507.82	94.39%
CASH AT BANKS				1,432,294.97	4.84%
OTHER NET ASSETS				227,211.60	0.77%
TOTAL NET ASSETS				29,574,014.39	100.00%

マネー・プール マザーファンド

《第18期》決算日2018年7月17日

[計算期間：2018年1月16日～2018年7月17日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月17日に第18期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	純総資産額
		期騰	落中率				
	円		%		%		百万円
14期(2016年7月14日)	10,050		0.0	62.2	—		241
15期(2017年1月16日)	10,047		△0.0	—	—		355
16期(2017年7月14日)	10,046		△0.0	—	—		284
17期(2018年1月15日)	10,046		0.0	—	—		707
18期(2018年7月17日)	10,044		△0.0	—	—		210

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
		騰	落中率				
(期首)	円		%		%		%
2018年1月15日	10,046		—		—		—
1月末	10,046		0.0		—		—
2月末	10,045		△0.0		—		—
3月末	10,045		△0.0		—		—
4月末	10,045		△0.0		—		—
5月末	10,044		△0.0		—		—
6月末	10,044		△0.0		—		—
(期末)							
2018年7月17日	10,044		△0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

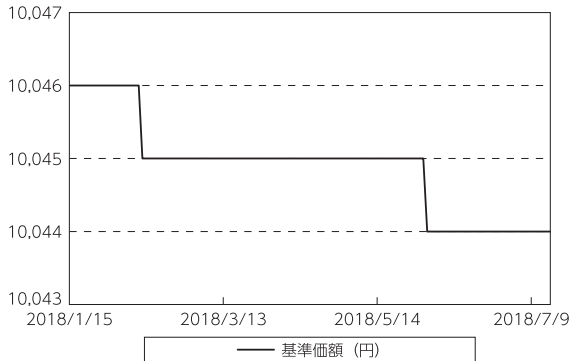
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.02%の下落となりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.07%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは概ねマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。期首から2018年3月上旬にかけてマイナス0.20%程度まで低下したものの、その後期末にかけて短期国債の需給緩和などから上昇し、足下はマイナス0.15%程度で推移しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国のコール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて下落となりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年1月16日～2018年7月17日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2018年1月16日～2018年7月17日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 27,999,975	千円 27,999,975

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年1月16日～2018年7月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2018年7月17日現在)

国内その他有価証券

区分	当期末	
	評価額	比率
コマーシャル・ペーパー	千円 199,999	% 95.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2018年7月17日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
その他有価証券	千円 199,999	% 95.0
コール・ローン等、その他	10,469	5.0
投資信託財産総額	210,468	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年7月17日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	210,468,415
コール・ローン等	10,468,437
其他有価証券(評価額)	199,999,978
(B) 負債	76
未払解約金	56
未払利息	20
(C) 純資産総額(A-B)	210,468,339
元本	209,541,347
次期繰越損益金	926,992
(D) 受益権総口数	209,541,347口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,044円

<注記事項>

- ①期首元本額 704,659,552円
 期中追加設定元本額 664,832,082円
 期中一部解約元本額 1,159,950,287円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0044円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,266,121円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,981,260円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,989円
マナー・プール・ファンドIV	976,918円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,977円

○損益の状況 (2018年1月16日～2018年7月17日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 24,297
受取利息	785
支払利息	△ 25,082
(B) 当期損益金(A)	△ 24,297
(C) 前期繰越損益金	3,229,833
(D) 追加信託差損益金	3,044,609
(E) 解約差損益金	△5,323,153
(F) 計(B+C+D+E)	926,992
次期繰越損益金(F)	926,992

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドV (年2回決算型)	19,434,044円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)	999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド (毎月決算型)	999円
マナー・プール・ファンドVI	122,114,793円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型	99,562円
国際オルタナティブ戦略 QTX-ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型	99,561円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	99,682円
リスク・パリティ α オープン	995円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)	1,807,091円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)	2,252,957円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957円

優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	209,541,347円